

阿蘇山における土砂災害対策の計画段階評価に関する有識者委員会

<議事要旨>

開催日：平成29年12月12日

- 砂防堰堤工は土石流対策だけでなく、細かい土砂の流出をコントロールするという面からも、効果があると考ええる。
- 阿蘇カルデラ内は火山性地質で多様な土砂移動現象が発生し、集落も立地しているため、砂防施設を充実させることは重要である。
- ソフト対策として、警戒避難体制の整備も併せて実施することが重要である。また、防災教育および砂防事業の普及活動によって地域の防災力を向上させることが望ましい。
- 阿蘇地域は観光地であるため、景観・環境に配慮して事業を実施することが望ましい。
- ハード対策だけでなく、ソフト対策についても県や市町村等と連携して取り組む必要がある。また、住民への丁寧な説明も必要である。
- 砂防堰堤工は阿蘇山が噴火した際のハード対策の備えとしても有効な対策である。
- 対応方針（原案）で示されている「砂防堰堤工を中心に整備する案」は妥当であると考ええる。